

校長通信 第1号 平成29年度(2017年度)4月13日

寮のお弁当



本校には寮があります。「図南寮」といいます。現在、99人の寮生と待機生の3人がいます。本校は国際文科・理数科は全学区なので離島・北部からやってきます。親元を離れ、最も心配なのが食事関係だと思われませんが、図南寮では、通常の授業のある日は当然、長期休暇中にある講座の日も加えて、土曜、日曜、祝日すべて3食用意されます。保護者も安心だと思います。また、私は、昼食(弁当)の頭職(有料)をすることになりますが、弁当は見た目にも味も素晴らしいです。調理人の愛情が感じられます。子供たちからの評判も高いです。

右の文言は新入生代表による入学式における宣誓の言葉です。今後の学校生活での飛躍が期待できます。また、我々、教職員はその飛躍を後押ししていく使命感を改めて感じる瞬間でした。



画像は校訓の石碑です。皆さん、どこにあるか探してみてください。

新入生誓いの言葉

私たち240名は、ただ今校長先生より沖縄県立向陽高等学校への入学許可をいただきました。小学校、中学校で多くの事を学んだ私達は、更なる飛躍を求め、一人一人様々な思いを胸に、この向陽高校に入学しました。これから私達は、たくさんの方を共に学び、共に経験していきます。その中で、勉強や部活動などでは競い合いながら、また、行事などでは助け合いながら、互いを意識し、切磋琢磨しながらそれぞれの夢に向かって歩き続けます。そして、向陽高校第24期としての誇りと自覚を持ち、様々な面で躍進できるよう、一所懸命努力することを誓います。

いよいよ平成29年度がスタートしました。4月7日に入学式、始業式があり、新入生は240人、総人数715人での出発です。始業式、入学式で生徒の前に立ちましたが、先ず、感動したこと、全員が真剣な眼差しで注目していること。こんなことは当たり前と声が聞こえてきますが、高校生にとってはなかなかできないことでもあります。姿勢を正し、顔を上げ、視線を向ける。一人一人は単なるこんなことですが、全員が同時にとなると「ありがとう」って言いたくなります。使命感と責任感を持ち、思いやりや親切丁寧な態度を身につけ、さらに、協調性やコミュニケーション力を発揮できる社会人になれることを教育目標の一つとして、我々教職員一同、責任を持って子供たちを育てていきます。皆様のご協力とご支援をいただきながら。

新入生ガイダンス

4月の早い時期に新入生に対するガイダンスが実施



ワークショップされました。目的は「高校生活への速やかな適応と家庭学習の習慣化を促し、主体的に学校生活を送れるようにする。以下略」内容は、校長講話・五教科授業説明・ワークショップ・大学説明・学校生活について等です。外部講師をお二人お招きし生徒への激励をしていただきました。二日間にわたり、生徒にとっては少々きつかったかも知れませんが、みなさん、きっと成長してくれたと信じています。

入学式式辞

前文省略 本校は、沖縄本島南部

地区の特色ある進学校として、「国際化が進み、高度情報化した社会で生きていく豊かな教養と正しい判断力を身に付け、世界の人々から信頼され、尊敬される人材の育成をめざす」ことを教育目標に掲げ、平成6年に開校、今年で24年目を迎え、これまでの卒業生は4,787名を数えています。開校以来、校訓「図南雄飛」のもと、早朝講座、60分授業、長期休業中の必修講座、海外研修や留学制度の充実など独自の教育システムを構築し、「知・徳・体」の調和のとれた教育を実施しています。このような本校で学ぶために、皆さんには是非心に留めておいてもらいたいことがあります。はじめに、明確な目標を設定してください。高校生活をどのように過ごすのか、将来どのような生き方がしたいのか、どのように社会に貢献したいのかなどです。その目標を確認するために、勉強はもちろん行事や課外活動、ボランティア活動にも積極的に参加し、自己の可能性を追求してください。つぎに、目標達成のために最大限の努力をすることです。進路実現は敷かれたレールの上を走るだけで達成できるものではありません。将来の目標達成のために己を律し、主体的に、そして積極的に勉強に取り組んでください。授業には真摯な態度でのぞみ、素直で謙虚に助言に耳を傾け一所懸命努力する向陽高校生になってください。さらに、当たり前のことが当たり前でできる態度を身につけましょう。挨拶の励行、時間厳守、責任のある行動、そして感謝の気持ちを持つ。このことは皆さんの目標達成、頑張りを支える大きな力になります。保護者の皆様、大切なお子様に対し、つい先日の義務教育の卒業まで大事に育ててこられました。引き続きまして、これからは、高等学校教育にて職員一丸となって育てていく所存です。

これから3年間、誇りと責任を持って、厳しく鍛え、温かく導くとともに、地域から信頼される学校づくりに取り組んでまいります。保護者の皆様に申し上げます。教育は学校だけでできるものではありません。学校と家庭が車の両輪の如く一体となって初めて所期の目的が達成されます。高校時代は少年期から青年期への移行期にあたり、成長と変化が著しいときです。少し離れたところからお子様の努力の様子を、時に温かく、時に毅然として見守っていただきますようお願いいたします。また、学校行事やPTA活動へ積極的にご参加いただき、家庭と学校との信頼関係を深め、より良い学校づくりを目指しましょう。皆様のお力添えをお待ちしております。 以下省略

校長通信では、私の独断で記事を掲載し、私の独自の意見や感想を記していきます。様々な、意見もあろうかと存じますが、その際は、是非、連絡を頂ければ勉強させていただきます。また、掲載に関して、個人名はなし、写真は粗くします。ご理解をお願いします。